

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学2年	英語(英会話を含む)	分割一斉	6時間

教科書 NEW CROWN 2 (三省堂) NEW CROWN 3 (三省堂)	副読本 Key ワーク2年、3年 (教育開発出版社) 語順ドリル② (正進社) Milleage Reader 1、2 (いいずな書店) キクジク (アルク)
---	---

目標・ねらい
1 英語の学習を通じて、様々な問題について興味・関心を深め、自らの考え、意見を持つ。
2 自己表現のためのツール(文法、語彙、論理展開)を身に付ける。
3 自己表現の経験を積むことによって、自己表現力を身に付ける。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

- 1 学習方法
(1) 予習
ア 新出単語の意味調べ(単語プリント)
(2) 授業
ア 帯活動(Small Talk/速読/多読)
イ オーラル・イントロダクション/復習(新出語彙・本文音読・瞬間英作文)
ウ リスニングによる概要把握
エ 新出語彙の確認
オ 本文の内容理解と音読
カ 新出文法のルールを理解とそれを使った自己表現
キ レッソンのトピック、新出文法を使った書く活動
ク パフォーマンステスト/まとめテスト
(3) 復習
ア 授業ノート、自己表現ノート、テスト直しノート、自主学习ノート
イ 音読
ウ 家庭学習プリント
エ Keyワーク、語順ドリル

2 長期休業の課題

- (1) 与えられたトピックについてまとめた英文を書き、まとめる
(2) キクジクテスト
(3) サマーワーク、ウィンターワーク等

評価について

観点	割合	授業時における項目
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	10	活動への意欲・提出物・単語テスト・キクジクテスト
外国語表現の能力	40	英会話・パフォーマンステスト・定期テスト・まとめテスト
外国語理解の能力	30	定期テスト・まとめテスト
言語や文化についての知識・理解	20	定期テスト・まとめテスト

年間授業計画表

	単元	目標
前期	Lesson 2 Peter Rabbit (1) be動詞の過去形の肯定文・疑問文・否定文 (2) 過去進行形と接続詞のwhen Lesson 3 The Ogasawara Islands (1) 未来形を表す助動詞 willの肯定文・否定文・疑問文 (2) 未来形を表すbe going toの肯定文・否定文・疑問文 (3) 接続詞のthat Project1 有名人を紹介しよう 中間テスト	Lesson 2 ~ 3 (1) be動詞の過去形、過去進行形を用いて過去のことを説明したり、尋ねることができる。 (2) 未来のことを説明したり、尋ねたりすることができる。 (3) 接続詞のthatを用いて、自分の考えを述べることができる。 (4) 地球の歴史について関心を持つ。 (5) 地球環境の現在の課題や未来について考える。
	Lesson 4 Enjoy Sushi (1) There is [are]~ 構文の肯定文・否定文・疑問文 (2) 動名詞 LET'S READ 1 A Pot of Poison 期末テスト	Lesson 4 (1) There is [are]~ 構文を用いて、物(人)の有無について説明したり、尋ねたりすることができる。 (2) 動名詞を用いて、物事を説明したり尋ねたりすることができる。 (3) 日本の食文化について関心を高める。 (4) 日本の古典芸能(狂言)を英語で楽しむ。 (5) 不定詞を用いて、好きな事や行為の目的などを説明したり、尋ねたりすることができる。 (6) 自分の将来像について考える。
後期	Lesson 5 Uluru (1) 目的語を2つ取る動詞 (2) 動詞+形容詞 Lesson 6 My Dream (1) 不定詞の3用法(名詞・副詞・形容詞) (British Hills 事後学習) Project2 自分の夢を紹介しよう 秋中間テスト	Lesson 5 ~ LESSON 6 (1) 目的語を2つ取る動詞を理解し、使うことができる。 (2) 動詞+形容詞を用いて、様子や状況を説明することができる。 (3) 旅の楽しさと、地域文化を尊重することについて考える。
	Lesson 7 Presentations (1) 原級・比較級・最上級 Lesson 8 India, My Country (1) 受動態の肯定文・疑問文・否定文 Project 3 自分の町を紹介しよう 冬中間テスト	Lesson 7 ~ LESSON 8 (1) 比較表現を用いて、物事を比べたり、自分の考えを述べたりすることができる。 (2) 受動態を用いて、物事を説明したり尋ねたりできる。 (3) 情報を効果的に伝えることについて考える。 (4) 多言語の国・人・ことば・社会の結びつきについて考える。
	LET'S READ 2 Landmines and Aki Ra Further Reading 1 Zorba's Promise Further Reading 2 A Calendar of the Earth New Crown3 Lesson 1 My Favorite Words (1) 受動態の復習 学年末テスト	LET'S READ 2 世界平和についての意識を高める。 Lesson 1 ~ 2 (1) 能動態と受動態の違いを理解し、運用することができる。 (2) ことばの持つ力について関心を高める。

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学2年	国語	一斉	5時間

教科書 現代の国語2年 (三省堂) 中学書写2 (教育出版)	副読本 よくわかる中学国文法(吉野教育図書) 漢検 漢字学習ステップ (日本漢字能力検定協会) 論理エンジンOS2(水王舎) 新国語総合ガイド(京都書房)
<p>目標・ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に表現する能力を身に付けるとともに、語彙を豊かにしようとする態度を育てる。 ・古典を理解する基礎を身に付けるとともに、古典に親しむ態度を育てる。 	
<p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <p>学習方法</p> <p>予習 教科書の本文を読み、分からない語句の意味を辞書で調べる。</p> <p>復習 本文・ノート・プリントを見直し、学習内容を理解できているか確認しておく。 関連した本を読むなど読書の興味へつなげる。</p> <p>口語文法と百人一首について 百人一首は適宜学習する。 口語文法は、副詞、連体詞、接続詞、感動詞、助詞、助動詞を学習する。</p> <p>文語文法について 歴史的かな遣い、係り結びの法則を学習する。</p> <p>長期休業の課題 毎年、春・夏・冬休みに作文もしくは読書感想文を一篇ずつ課題とする。 課題作文等、外部コンクールにも応募する。</p> <p>小テスト 漢字テスト・語彙テストなどを定期的実施する。また、年間に3回程度到達度テストを行う。 達成度に応じ、試験後や長期休業時に課題や補いを行う。</p> <p>書写 毛筆・硬筆併せて、年間10時間程度行う。</p> <p>※学年の状況に応じて単元が前後することがある。 ※9～10月に集中的に表現活動・読書活動を行い、授業中の実践や成果物を評価するため、秋中間テストは行わないものとする。</p>	

観点	割合	授業時における項目
国語への関心・意欲・態度	10	提出物・取り組み方
話す・聞く能力	5	授業での発表や対応
書く能力	10	長期休業中の課題作文・単元後の感想文など
読む能力	60	中間テスト30+期末テスト30
言語についての知識・理解・技能	15	漢字テスト10+書写5

年間授業計画表

	単元	目標
前期	1 随筆 2 小説 3 評論 4 口語文法 5 百人一首 6 論理エンジン 7 書写	1 作者の考え方を理解し、自分の考え方と比較する。 2 表現に即して、人物の心情や人物像、及びその心情の変化を読み取る。 3 内容を理解した上で自分の考えを深める。 4 副詞・連体詞・接続詞について理解する。 5 古文に親しむ。 6 物事を筋道を立てて考える方法を学ぶ。 7 毛筆と硬筆(ペン習字)を用いて、美しい文字を書く。
	中間テスト	
後期	1 評論 2 詩 3 古文 4 口語文法 5 論理エンジン	1 自分のものの見方を広げ、立場を変えて表現する。 2 日本語の表現・音の美しさをあじわう。 3 繰り返し音読することで古文に親しむ。古人の生き方を理解する。 4 感動詞・助詞・助動詞について理解し、その性質を表現に生かす。 5 物事を筋道を立てて考える方法を学ぶ。 6 レポートや作文・スピーチなどを通して自分の考えを発表する。 7 毛筆と硬筆(ペン習字)を用いて、美しい文字を書く。
	期末テスト	
後期	1 小説 2 漢文 3 評論 4 文語文法 5 百人一首 6 論理エンジン 7 書写	1 登場人物を通して、人間の生き方について考える。 2 漢詩の世界をあじわう。漢文訓読の基礎(返り点・送り仮名)を理解する。 3 筆者の主張を通して社会や人生についての認識を深める。 4 古語の名詞と動詞について理解する。 5 古文に親しむ。 6 物事を筋道を立てて考える方法を学ぶ。 7 毛筆と硬筆(ペン習字)を用いて、美しい文字を書く。
	冬中間テスト	
後期	1 小説 2 評論 3 文語文法 4 俳句 5 百人一首 6 論理エンジン 7 書写	1 人物の心情・表現構造について理解し、主体的に作品把握を行う。 2 筆者の主張を理解し、筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。 3 古語の形容詞・形容動詞について理解する。係り結びの法則を理解する。 4 俳句の形式や季語についての理解を深め、実作にいかす。 5 古文に親しむ。 6 物事を筋道を立てて考える方法を学ぶ。 7 毛筆と硬筆(ペン習字)を用いて、美しい文字を書く。
	学年末テスト	

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学2年	社会(歴史的分野)	一斉	3時間

教科書 中学社会 歴史 (教育出版)	副読本 学び考える歴史 (浜島書店) 歴史用語集 (吉野教育図書)
-----------------------	---

<p>目標・ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と諸外国との歴史や文化の深いかかわりを踏まえ、世界の歴史を背景に日本の歴史を理解する。 ・各時代の特色と移り変わりを理解し、また、各時代が今日の社会生活に及ぼしている影響を考える。 ・さまざまな資料を活用して、歴史的事象を多角的に考察し公正に判断できるようにする。

<p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <p>1 日常の学習</p> <p>(1)授業では、黒板を写すだけではなく、話の中で必要事項を判断し、記入すること。</p> <p>(2)上記の授業内容を、いろいろな資料などを使って調べながらノートにまとめること。</p> <p>(3)学習習慣定着のため、小テスト対策や課題提出は必ず行うこと。</p> <p>(4)授業進度に合わせてワークの問題を解くこと。</p> <p>1 長期休業の学習</p> <p>(1)まとまった時間を使って調べ学習を行うこと。</p> <p>(2)問題集を宿題として、休暇明けに確認テストを行うので、学習内容の定着をはかること。</p> <p>(3)成績不振者対象の特習には必ず出席すること。</p>

評価について

観点	割合	授業時における項目
社会的な事象への関心・意欲・態度	10	課題・小テスト
社会的な思考・判断・表現	20	課題・小テスト
資料活用の技能	10	課題・ノート提出
社会的な事象についての知識・理解	60	定期テスト

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第1章 歴史の移り変わりを考えよう 第2章 原始・古代の日本と世界 1 文明のおこりと日本列島 2 古代中国と「倭」の王権 3 大帝国の出現と律令国家の形成 中間テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・人類の出現とその発達及び古代文明の誕生を理解する。 ・古代文明が生まれた頃の日本列島での変化を理解する。 ・東アジアの変化の中で、国の誕生や律令国家の形成を理解する。 ・律令制を通して古代国家の仕組みを理解し、貴族の繁栄と、日本風の文化の誕生について理解する。
	第2章 原始・古代の日本と世界 4 貴族社会の発展 第3章 中世の日本と世界 1 世界の動きと武家政治の始まり 期末テスト 2 ゆれ動く武家政治と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・都の繁栄を支えた農民生活の実態と、律令制の基礎である公地公民制が崩れ始めたことを理解する。 ・武士の誕生と、武士が力を持っていったことを理解する。 ・封建制度のしくみを、土地支配や主従関係を中心に理解する。 ・鎌倉幕府、室町幕府のしくみやその政治を理解する。 ・成長した民衆が自治組織を作り、一揆を起こしたことを理解する。
後期	第4章 近世の日本と世界 1 結びつく世界との出会い 2 天下統一への歩み 3 幕藩体制の確立と鎖国 秋中間テスト 4 経済成長と幕政の改革 第5章 近代の幕開け 1 近代世界の確立とアジア 冬中間テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・大航海時代の影響を受けて、日本が中世から近世へ移行する過程を理解する。 ・江戸幕府の成立と幕藩体制、鎖国下での国際関係を理解する。 ・身分制度と人々の暮らしを理解する。 ・一揆などを踏まえて、貨幣経済の農村への浸透が、幕藩体制の基礎をゆるがせていったことを理解する。 ・欧米諸国によるアジアの植民地化と、アジアの抵抗を理解する。
	第5章 近代の幕開け 2 開国と幕府政治の終わり 第6章 近代の日本と世界 1 明治維新と立憲国家への歩み 学年末テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の開国と社会の変動、そして江戸幕府の滅亡を理解する。 ・明治政府が封建制度を解体し、中央集権国家建設のために行った諸改革を理解する。 ・欧米列強に対抗するための富国強兵策と、諸改革がもたらした影響について理解する。 ・明治初期の外交政策を理解する。 ・自由民権運動と政党の誕生、憲法発布と議会の開設について理解する。

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学2年	数学	分割	4時間

教科書 中学校 数学2 (数研出版) 中学校 数学3 (数研出版)	副読本 Jack21 数学vol.2 (育伸社) Jack21 数学vol.3 (育伸社)
---	---

目標・ねらい
 ・文字式を目的に応じて計算したり、変形したりする能力を伸ばす。
 ・連立方程式や、関数の基本について理解する。
 ・平面上の図形の合同や、その証明について学ぶ。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

○定期試験について
 (1)授業内容を中心に出题する。
 (2)下記DNテストの内容を含む問題を出題する。
 (3)試験当日に、問題集を提出すること。
 (4)「中学3年の先取り学習」を行い、試験範囲に含む。

○その他のテストについて
 (1)章末テスト：各章が終わる度に実施する振り返りテスト 合格点70点
 (2)再テスト：章末テストの再テスト 合格できるまで再テストや補習を受け続ける。
 (3)MNテスト：日々の授業内容を確認する毎日テスト
 (4)DNテスト：学習済み内容を自宅で振り返る土日テスト
 (5)TDNテスト：学力テスト前に再確認をするDNテストの総まとめテスト

○日々の学習について
 (1)予習として、「教科書の例題を読む」と良い。フラットファイルを整理する。
 (2)復習として、「その日のうちに問題集を解いてまる付けと間違い直し」をする。
 (3)夏休みの宿題はワーク1冊、冬休みと春休みの宿題はプリントが配布される。
 (4)各教室に置いてある「数学検定の完全対策問題集(日本実業出版)」を自由に活用する。
 (5)希望者に問題集「STEP演習(数研出版)」を販売する。各自のペースで取り組むこと。

評価について

観点	割合	授業時における項目
数学への関心・意欲・態度	10	提出物・DNテスト
数学的な見方や考え方	70	定期テスト 年5回
数学的な表現・処理	10	章末テスト・TDNテスト・学力テスト
数量・図形などについての知識・理解	10	MNテスト・課題

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第1章 式と計算 文字式の利用	・同類項について学ぶ。 ・文字を使った数を理解する。 ・目的に応じた等式の変形をする。
	第2章 連立方程式 連立方程式(加減法)	・加減法を活用できる。
	中間テスト	
後期	連立方程式(代入法) 連立方程式の利用	・複雑な連立方程式を解く。 ・自ら立式して2数を求める。
	第3章 1次関数 1次関数 1次関数のグラフのかき方	・ともなって変化する数量の関係を、式や表またはグラフに表す。
	期末テスト	
	2元1次方程式 1次関数の利用 第4章 図形の性質と合同 平行線と角	・文章題を1次方程式で解く。 ・いろいろな角を求める。
	三角形の合同 証明	・三角形の合同を使った証明ができる。
	秋中間テスト	
	第5章 三角形と四角形 三角形 四角形	・三角形や四角形の性質を知る。
	第6章 確率 確率	・起こりうる場合の数を数え、確率を求める。
	冬中間テスト	
	中学3年 第1章 式の計算 多項式の計算 因数分解 式の計算の利用 素因数分解	・展開と因数分解の関係を把握する。 ・素因数分解ができる。
	学年末テスト	

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学2年	理科1分野(電気)	一斉	後期2時間

教科書 未来へひろがるサイエンス2 (啓林館)	副読本 新中学問題集理科2年(教育開発出版) 中学理科 詳説用語&資料集2000(受験研究社)
----------------------------	---

目標・ねらい
 ・自然に対する関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に調べる能力と態度とともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。
 ・実験観察を通して、自然の事物・現象に興味をもち、科学的な知識と探究心を養う。
 ・基本的な事項をしっかりと身につけ、科学的思考とそれを表現する力を養う。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

1学習方法
 (1)授業での学習と実験観察に意欲的に取り組む。
 (2)復習を重視し、小单元ごとに問題演習を行う。
 (3)実験の授業では、安全面を重視し、基本的な操作方法を身につける。

2家庭学習
 (1)学校からの課題を行う。
 (2)定期試験に向けた学習計画を立て実行する。
 (3)地球環境問題に対して、興味・関心をもつ。

3授業
 実験室の状況で、単元の順番を変更することがある。
 授業は、後期に化学分野と電気分野を同時展開で行う。

評価について

観点	割合	授業時における項目
自然事象への関心・意欲・態度	10	授業態度・提出物
科学的な思考・表現	20	小テスト・提出物等
観察・実験の技能	10	ノート・実験観察や実習などの提出物
自然事象についての知識・理解	60	定期テスト

年間授業計画表

	単元	目標
前期		
後期	[エネルギー] 電流の性質とその利用 1章 電流の性質 秋中間テスト	1章 電流の性質 ・回路の基本的な性質や、電圧と電流との関係について、規則性を見いだす。 ・実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得する。
	2章 電流の正体 冬中間テスト	2章 電流の正体 ・日常生活と関連づけながら静電気の性質について調べる。 ・静電気と電流には関係があることを見いだす。 ・真空放電の実験から、電流の正体について理解する。
	2章 電流の正体 3章 電流と磁界 期末テスト	3章 電流と磁界 ・磁石のまわりの磁界の様子について理解する。 ・電流がつくる磁界の規則性を見いだす。 ・電流が磁界から受ける力を調べることにより、電流と力の間の規則性を見いだす。 ・電磁誘導の実験を通して、誘導電流の向きや強さの規則性について理解する。 ・日常生活と関連づけながら、電流と磁界の相互作用について理解を深める。 ・直流と交流について理解する。

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学2年	理科	一斉	前期4時間 後期2時間

教科書 未来へひろがるサイエンス 2 (啓林館)	副読本 新中学問題集理科2年(教育開発出版) 中学理科 詳説用語 & 資料集2000(受験研究社)
目標・ねらい ・自然に対する関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に調べる能力と態度とともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。 ・実験観察を通して、自然の事物・現象に興味をもち、科学的な知識と探究心を養う。 ・基本的な事項をしっかりと身につけ、科学的思考とそれを表現する力を養う。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) 1学習方法 (1)授業での学習と実験観察に意欲的に取り組む。 (2)復習を重視し、小单元ごとに問題演習を行う。 (3)実験の授業では、安全面を重視し、基本的な操作方法を身につける。 2家庭学習 (1)学校からの課題を行う。 (2)定期試験に向けた学習計画を立て実行する。 (3)地球環境問題に対して、興味・関心をもつ。 3授業 実験室の状況で、単元の順番を変更することがある。	

評価について

観点	割合	授業時における項目
自然事象への関心・意欲・態度	10	授業態度・提出物
科学的な思考・表現	20	小テスト・提出物等
観察・実験の技能	10	ノート・実験観察や実習などの提出物
自然事象についての知識・理解	60	定期テスト

年間授業計画表

	単元	目標
前期	[生命]動物の生活と生物の進化 生物とは何だろう 動物とはどのような生物だろう 1章 生物の体と細胞 2章 生命を維持するはたらき 3章 感覚と運動のしくみ 中間テスト	1章 生物の体をつくる細胞 生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること、および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだす。 2章 生命を維持するはたらき ・消化や呼吸、血液の循環についての観察、実験を行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを観察・実験の結果と関連づけて捉える。 ・不要となった物質を排出するしくみがあることを理解する。 3章 感覚と運動のしくみ 動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、そのしくみを感覚器官、神経および運動器官のつくりと関連づけて捉える。
	4章 動物のなかまと生物の進化 5章 生物の移り変わりの進化 [物質]化学変化と原子・分子 銀をつくる粒子 1章 物質の成り立ち 2章 物質を表わす記号 期末テスト 3章 さまざまな化学変化	4章 動物のなかまと生物の進化 ・脊椎動物の観察記録に基づいて、体のつくりや子の生まれ方などの特徴を比較、整理し、脊椎動物がいくつかのなかまに分類できることを見いだす。 ・無脊椎動物などの観察を行い、その観察記録に基づいて、それらの動物の特徴を見いだす。 5章 生物の移り変わりと進化 ・現存の生物および化石の比較などをもとに、現存の生物は過去の生物が変化して生じてきたものであることを体のつくりと関連づけて捉える。 1章 物質の成り立ち ・物質を分解する実験を行い、物質からその物質の成分が推定できることを見いだす。 ・物質は原子や分子からできていることを理解する。 2章 物質を表わす記号 ・原子や分子のモデルによって物質を表されることを知る。 ・化学変化は原子や分子のモデルで説明でき、化学反応式で表されることを理解する。 3章 さまざまな化学変化 ・2種類の物質を化合させる実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだす。 ・さまざまな化学変化を原子や分子のモデルを用いて説明できること、化学反応式で表すことができることを理解する。
後期	4章 化学変化と物質の質量 秋中間テスト	4章 化学変化と物質の質量 ・化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を行い、化学変化の前後では物質の質量の総和が等しいことを理解する。 ・金属と酸素が化合するときの質量を測定する実験を行い、結果をグラフ化することにより、物質の質量の間には一定の関係があることを見いだす。
	[地球] 地球の大気と天気の変化 1章 空気中の水の変化 冬中間テスト 2章 天気の変化と大気の動き	1章 空気中の水の変化 地球上の水はさまざまな状態で存在し、霧、雲、雨や雪はその循環の一部であることを認識するとともに、空気中の水の変化について理解する。 2章 大気の動きと天気の変化 ・大気の動きを立体的に捉え、大気の状態を観測して、天気との関係を見いだす。 ・日本周辺にできる気団や日本付近の大気の動き方の規則性と関連づけながら天気の変化を捉える。
	3章 大気の動きと日本の四季 学年末テスト	3章 大気の動きと日本の四季 ・地球の表層で生じる地球規模の大気の動きが緯度による温度差と関係して起こる自然現象であることを理解し、その一部としての偏西風を認識する。 ・大陸と海洋の温度差によって生じる大気の動きが、日本の気象に影響を与えることを理解する。 ・日本付近で盛衰する3つの気団と関連づけながら、日本の四季の天気の特徴とそれが生じるしくみを理解する。

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学2年	音楽	一斉	1時間

教科書 中学生の音楽 2・3年 上 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社)	副読本 なし
--	-----------

目標・ねらい
 ・音を使って、自分を表現する喜びを味わい、豊かな人間性を養う。
 ・演奏や鑑賞を通して、他と協力して一つのものを作り上げる喜びを体験する。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)
 ・授業の進度により課題の出る場合がある。
 ・各種コンクール等への自主参加は自由。

評価について

観点	割合	授業時における項目
音楽への関心・意欲・態度	30	課題への取り組み方・定期テスト・平常点
音楽表現の創意工夫	20	実技テスト
音楽表現の技能	40	実技テスト
鑑賞の能力	10	鑑賞プリント

年間授業計画表

	単元	目標
前期	曲想の変化の理解と表現の工夫(歌唱) 音符と休符(リズム練習) 動機の展開を伴う形式のおもしろさ	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の構成や曲想の変化を感じ取って歌おう。 ・基礎的な音符・休符を正しく理解し、リズムを打ち、聴き取ろう。 ・曲のしぐみに注目して名曲を楽しもう。 ・作曲家の人生について知識を深め、楽曲への思いを感じ取ろう。
	声部の重なり方の理解と表現の工夫 アルトリコーダー 実技テスト 期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の構成と音の重なり方を理解して表現を工夫しよう。 ・基礎的な運指を確認し、流れる旋律にのって演奏しよう。 ・他と協力し、よく聴き合いながら演奏しよう。
後期	言葉を大切にした歌唱表現の工夫(歌唱) 日本の歌の美しさを求めて 舞台芸術と音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉と旋律の関係を理解して表現を工夫しよう。 ・曲の持つ情緒を味わいながら歌おう。 ・オペラに親しみ、その音楽を味わおう。
	表情豊かな歌唱表現 箏曲教室 実技テスト 学年末テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の特徴を生かして表情豊かに歌おう。 ・日本の楽器を実際に演奏することで、日本の伝統音楽に興味を持とう。 ・人前で楽しみながら自己の音楽性を工夫して表現しよう。

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学2年	美術	一斉	1時間

教科書 美術2・3（光村図書）	副読本 ウォッチ2（正進社）
--------------------	-------------------

目標・ねらい
表現、鑑賞の幅広い活動を通して、創作活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、技術の基礎的能力を伸ばし豊かな情操を養う。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

- ・毎回、タブリエを持参すること。
- ・授業の進度により課題の出る場合がある。
- ・各種コンクールへの参加は自由。

評価について

観点	割合	授業時における項目
美術への関心・意欲・態度	30	提出物(20) 平常点(10)
発想や構想の能力	30	提出物
創造的な技能	30	提出物
鑑賞の能力	10	平常点

年間授業計画表

	単元	目標
前期	モダンテクニック 新しい技法を学び、コラージュをする	・イメージをまとめ、意欲的に取り組む。 ・技法に関心を持ち、友達や自分の作品の良さを感じ取る。
	点描 人物や、風景画を点描で表現する	・自他の作品の良さを感じることができる。
後期	透視図 一点透視図法 二点透視図法	・透視図法で立体図を描くことができる。 ・透視図法を活用し、平面構成ができる。
	水彩画 風景画	・淡色画法で描くことができる。 ・イメージを広げ、構想をまとめることができる。
	期末テスト	
後期	彫金 様々な道具を使用し、銅版を打って作品を仕上げる	・自分らしい表現を楽しむことができる。 ・材料の特性を活かした構成ができる。
	ガラス絵	・線描の表現方法や、美しさを知る。 ・自分らしい構成を考えることができる。
	学年末テスト	

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学2年	保健体育	一斉	3時間

教科書 新中学保健体育 (学研)	副読本 中学体育実技 2016 (横浜市版 学研)
---------------------	------------------------------

目標・ねらい
 (保健) 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
 (体育) 各種の運動を適切に行うことによって、自己の体の変化に気付き体の調子を整えるとともに体力の向上を図り、たくましい心身を育てる。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

見学の取り扱い
 ・自分の体調を考えながら可能な範囲で参加をし、できるだけ見学はしないこと。
 ・見学届は事前に提出すること。

体操服をきちんと着用すること。

怪我の防止のため、準備運動を徹底すること。

※合気道では道着を購入してもらいます。

評価について

観点	割合	授業時における項目
運動や健康・安全への関心・意欲・態度	10	積極性、協力性、安全への配慮提出物
運動や健康・安全についての思考・判断	10	授業内での状況判断、創造性 提出物
運動の技能	50	実技テスト
運動や健康・安全についての知識・理解	30	期末テスト

年間授業計画表

	単元	目標
前期	体育祭	・出場競技の向上 ・集団行動での役割を判断し実行する
	走り高跳び	・ベリーロールの習得と記録の更新
	バドミントン	・基本のストロークとサービスを身に付ける ・基本的なストローク、フライトを使ってラリーを続ける。
	体づくり運動	・姿勢を考慮して自分に合った準備運動を行う ・複数人数で行う基礎運動を行う ・種目に応じた基礎運動を行う
後期	保健 第2章 健康と環境	・環境が身体に与える影響について理解し、健康のために環境を改善する資質や能力を育てる
	体育理論	・運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする
	期末テスト	
	バスケットボール	・スムーズなパス回し ・速いボール運びのゲーム展開 ・バスケットボールのルールの理解 ・いくつかのステップを取り入れた振り付けで1曲を踊る ・はじめ—なか—おわりのはなしにそって、体で表現する
後期	ダンス	
	器械運動	・台上前転・頭はね跳び
	合気道	・礼法、構え、足捌き、受け身を身に付ける。 ・逆半身片手取り角落とし ・演武 ・傷害の防止について理解し、応急手当の実技を通して実践できる能力を育てる。
後期	保健 第3章 傷害の防止	
	学年末テスト	

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学2年	技術・家庭	一斉	2時間

教科書 技術・家庭（開隆堂）	副読本 なし
<p>目標・ねらい 生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を身につける。</p>	
<p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <p>1 プリント、課題などは必ず提出すること。また、製作物が未完成の場合は、採点の対象にならないので注意すること。</p> <p>2 調理実習では、班で作業することも考え、なるべく欠席のないよう体調管理に注意すること。</p> <p>3 被服実習では、製作途中の課題を家庭に持ち帰ることは認めていない。欠席や作業の都合で、授業時間中に完成できなかった場合は、放課後の補習に参加し、完成させること。</p> <p>4 長期休業中には、家庭での実践を含めたレポート等の課題がある。</p>	

評価について

観点	割合	授業時における項目
生活や技術への関心・意欲・態度	20	授業・課題への取り組み状況
生活を工夫し創造する能力	10	製作物、プリントや課題の内容
生活の技能	20	実技テスト、製作物、プリントや課題の内容
生活や技術についての知識・理解	50	定期テスト

年間授業計画表

	単元	目標
前期	食生活と自立	<p>食品の栄養的特質や中学生の1日に必要な食品の種類と概量について配慮しながら、中学生の1日の献立を考えることができる。</p> <p>生鮮食品と加工食品の表示について知り、食品の品質を見分け、用途に応じて選択できる。</p> <p>基礎的な日常食の調理ができる。</p> <p>安全と衛生に留意し、食品や調理器具の適切な管理ができる。</p>
	期末テスト	<p>食生活に関心を持ち、日常食調理などの活動を工夫し、計画をたてて実践できる。</p> <p>環境と日本の食糧事情について学び、自分の食生活を世界の視点から見直す。</p>
後期	生活を豊かにする物をつくる	<p>製作で用いる道具や機械の取り扱い方法を学び、縫製の基礎的技術を習得する。</p> <p>製作を通じ、技術を活用して物を作り上げる喜びを味わう。</p>
	衣生活と自立	<p>衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れの方法を理解し、適切な手段を選択できる。</p>
	住生活と自立	<p>家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について知る。</p> <p>家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できる。</p>
	学年末テスト	

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学2年	宗教	一斉	1時間

教科書 聖書 新共同訳続編つき (日本聖書協会)	副読本 なし
目標・ねらい ・学園の建学の精神に触れ、キリスト教の基礎的な知識を身につける。 ・キリスト教の歴史を理解する。 ・聖書に触れ、神のメッセージを学ぶ。 ・生徒一人ひとりが神に愛されていることを実感させる。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) ・聖書のみことばと、現代社会の諸問題を関連付けながら、学ぶように導く。 ・修養会などの宗教行事に関する事前の準備と、事後の振り返りを行う。 ・修養会ノートの提出や、課題に対するレポートを定期的に課す。 ・夏休みには読書感想を書く。(宗教書などの指定は適宜行う)	

評価について

観点	割合	授業時における項目
宗教への興味・関心	20	提出物・修養会ノート
キリスト教についての知識・理解	60	期末試験
キリスト教的価値観を表現する力	20	課題・レポート(読書感想など)

年間授業計画表

	単元	目標
前期	・ユダヤ教の成立について ・イエス・キリストの誕生 ・マリア、ヨゼフについて、ザカリアの物語	・モーセの「十戒」からユダヤ教の成立までの歴史の流れを理解する。 ・イスラエルの社会的背景の中で、救い主誕生の意義を理解する。 ・「神の子」の誕生意義を考える。 ・聖母マリアと聖ヨゼフの生涯とアブラハムのお告げを理解する。 ・洗礼者ヨハネとの関わりを理解する。
	・聖母マリアについて (1) マリアの生涯 (2) 現代におけるマリア信心 (ア) ルルドの聖母 (イ) ファティマの聖母 (ウ) ガダルレーペの聖母 期末テスト	・イエスの母聖マリアの生涯とその後の出現の歴史を理解する。 ・聖母出現の出来事と歴史を通してカトリックの伝統的信仰を理解する。
後期	・イエスの生涯(神殿でのイエス(12歳)) ・12人の弟子 ・ペトロ～ユダ	・生徒と同じ世代のイエスについて理解を深める。 ・弟子たちの存在と教会の成立の歴史を理解する。 ・12使徒の名前と生涯を理解し、覚える。 ・ローマ教皇の始まりについて理解する。
	・イエスの宣教 (1) 山上の説教(ルカ6章20～23) (2) たとえ話 (ア) 種を蒔く人」ルカ8章4～ (イ) 「善いサマリア人」ルカ10章25 (ウ) 「放蕩息子」ルカ15章11～ ・修養会について 学年末テスト	・聖書のたとえ話の意図を理解する。 ・「隣人」についての理解を深める。 ・「父の愛」、「神の愛」を理解 ・「自由」について考察する。 ・修養会の目的と日程を確認し、テーマに沿った自己実現の大切さを理解する。